

土壌汚染対策について

空気調査及び地下水質調査

- ・豊洲市場では、市場業務を行う地上部の安全を確認するため、定期的に空気調査及び地下水質調査を実施
- ・令和4年8月までに測定した空気調査及び地下水質調査の結果について、令和4年9月27日に専門家の評価を付して公表

1 調査の概要及び調査結果

(1) 空気調査

ア 調査の概要

建物1階（5か所）、屋外（4か所）、地下ピット（10か所）の19か所で、ベンゼン、シアン、水銀を毎月測定

イ 採取日

令和4年5月14日～15日、令和4年8月14日～15日

ウ 調査結果

調査物質	基準値等	単位	調査時期	建物1階	屋外	地下ピット
ベンゼン	0.003 (1年平均値)	mg/m ³	5月	0.0009 ^{※1} ～0.0011 ^{※1}	0.0009 ^{※1}	0.0006 ^{※1} ～0.0010 ^{※1}
			8月	0.0012 ^{※2} ～0.0014 ^{※2}	0.0012 ^{※2} ～0.0013 ^{※2}	0.0008 ^{※2} ～0.0011 ^{※2}
シアン	0.003	mg/m ³	5月	不検出	不検出	不検出
			8月	不検出	不検出	不検出
水銀	0.04 (1年平均値)	μg/m ³	5月	不検出	不検出	不検出～0.004 ^{※1}
			8月	不検出	不検出	不検出～0.004 ^{※2}

※1は令和3年6月～令和4年5月、※2は令和3年9月～令和4年8月測定値の平均値。それぞれ不検出の場合は定量下限値として算出。

(2) 地下水質調査

ア 調査の概要

調査物質の濃度が高い箇所を中心に選定した濃度確認用観測井戸（28か所）、街区全体のバランスを考慮し選定した全体確認用観測井戸（17か所）の45か所で、ベンゼン、シアン、ヒ素を3か月ごとに測定

イ 採取日

令和4年5月5日～12日、令和4年8月11日～18日

ウ 調査結果

調査物質	基準値	単位	調査時期	濃度確認	全体確認
ベンゼン	0.01	mg/L	5月	不検出～1.1	不検出～0.064
			8月	不検出～0.77	不検出～0.059
シアン	検出されないこと (定量下限値:0.1mg/L未満)	mg/L	5月	不検出～1.1	不検出～0.5
			8月	不検出～1.1	不検出～0.6
ヒ素	0.01	mg/L	5月	0.006～0.039	0.001～0.068
			8月	0.004～0.040	不検出～0.056

2 専門家の評価の概要（9月27日公表時）

（1）空気調査結果

建物1階部分、屋外、地下ピット内のいずれの空気についても大気環境基準等に適合しており、前回の調査結果（7月4日公表）と同様に、科学的な視点から安全は確保された状態にあると考えられる。

（2）地下水質調査結果

前回の調査結果（7月4日公表）と比べ、濃度が上昇傾向を示した地点や低下傾向を示した地点も存在しているが、全体的に見れば、大きく汚染状況が変化した傾向は確認できない。

3 今後の対応

引き続き空気調査、地下水質調査によるモニタリングを継続するとともに、これまでの調査によって蓄積した数値をもとに、区部の大気測定局など他の箇所におけるベンゼン濃度の測定結果との関連性を分析し、正確な情報をわかりやすく公表していくことで、豊洲市場を安全・安心な市場として運営していきます。

豊洲市場と都内区部の空气中ベンゼン濃度の動向について

○東京都環境局が測定している大気常時監視測定局（以下「連続観測点」という。）のベンゼン濃度と豊洲市場の空气中的ベンゼン濃度で比較を行った。

○豊洲市場における空气中的ベンゼン濃度と、その測定日時と同一日時の連続観測点におけるベンゼン濃度は、おおむね同じ動向を示している。

この結果から、豊洲市場内の空気は、都内区部の空気と同じ動向を示していると考えられる。

